



深谷市産業振興計画

Ver1.1.7



令和7年3月改定
深谷市

深谷市産業振興計画の策定にあたって

本市の産業は、長引く景気の足踏みや、グローバル化した経済による競争の激化とそれにともなう業界の再編、さらには自然災害への対応など、多くの課題に直面しております。

このような困難な環境のなかで市内産業を活性化していくためには、市民・教育機関・商工業者・農業者の方々と協働・連携し、同じ方向を向いて進んでいくことがこれまで以上に重要となるものと考えます。

そこで、市民・教育機関・商工業者・農業者の方々にどのような形で本市の産業振興に関わっていただくかを明確にするため「深谷市産業振興条例」を制定し、これに基づく「深谷市産業振興計画」を策定することといたしました。

計画策定にあたっては、産業にさまざまな形で関わる団体の皆さまのもとを訪問させていただき、ご意見を直接伺うことにより、実効性の高い実施計画を作成することを目指しました。

また、深谷市総合振興計画後期基本計画の産業分野の実効性を高める行動計画（アクションプラン）として、産業振興の各施策における目標値を設定するとともに、産業に関わる団体の皆さまから継続的にご意見を伺うことにより、PDCA（Plan 計画→Do 実施→Check 評価→Action 見直し）サイクルによる進行管理を行い、社会情勢に柔軟に対応できる生きた計画として推進してまいります。

結びに、深谷市産業振興計画策定のために貴重なご意見等をいただいた皆様に心から厚くお礼を申し上げます。

平成27年9月

深谷市長 小島 進



目次

第1部 深谷市産業振興計画のあらまし

第1節 計画の策定について

- 1 計画策定の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2 計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

第2節 産業振興計画の施策体系

- 1 深谷市産業振興計画と深谷市総合振興計画との関係・・・・・・・・ P 3
- 2 体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 3 産業振興計画の施策と事務事業の関係・・・・・・・・ P 4

第2部 産業振興計画 施策別の取組内容

- 1 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり
 - (1) 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援・・・・・・・・ P 7
 - (2) 農畜産物の販売流通体制の充実・・・・・・・・ P10
- 2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり
 - (1) 商工業の振興・・・・・・・・ P15
 - (2) 観光資源の整備と活用・・・・・・・・ P24
 - (3) 就業環境の整備・・・・・・・・ P29

第3部 プロジェクト事業の展開

- 1 深谷市総合計画主要プロジェクトと事業の推進方針・・・・・・・・ P38
 - 2 深谷市総合計画主要プロジェクト
 - (1) 渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト・・・・・・・・ P39
 - (2) 農業の強みを生かした産業振興プロジェクト・・・・・・・・ P40
 - (3) 「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト・・ P42
 - 3 各主要プロジェクトの「主な取組」に係る事業の説明・・・・・・・・ P44
- 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・ P46

第1部 深谷市産業振興計画のあらまし

第1節 計画の策定について

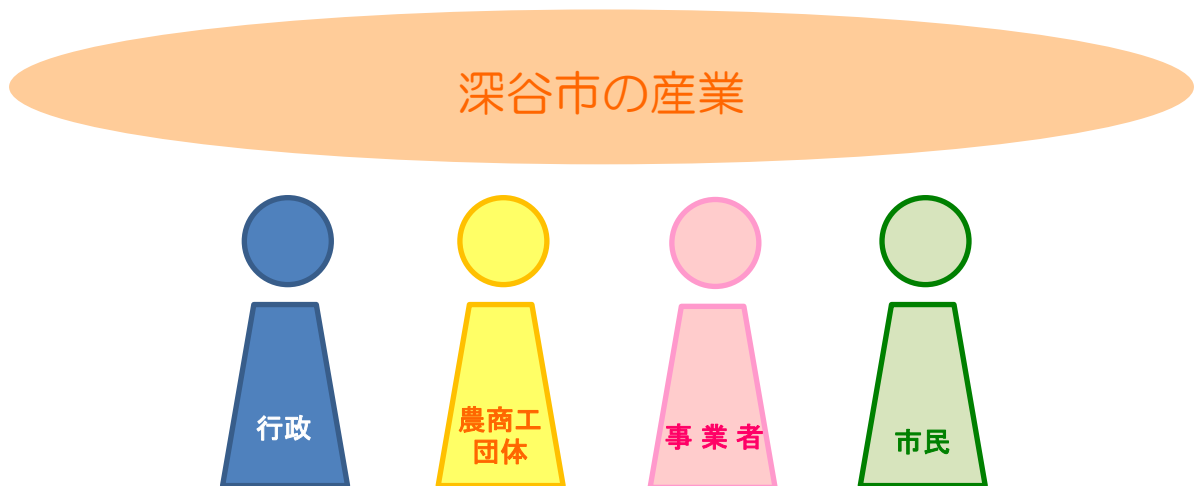
1 計画の目的

本計画は、深谷市産業振興条例（平成26年3月25日条例第6号）の理念に基づき、市と市内産業に関係する皆さまをはじめとする多様な主体の連携・協働による産業振興を実施していくことを目的としており、今後の具体的な取り組みによって、市、事業者及び市民が進んでいく方向性を定めるものとして策定しました。

本計画策定後、産業振興施策を実施しておりますが、第2次深谷市総合計画の後期基本計画が策定されたことに伴い、計画上の整合性を図るため、計画の一部修正を行いました。また、本計画の各取組については、関連団体へのヒアリング等により、毎年ローリングで見直しを行うものとし、本文は市ホームページで随時閲覧可能とします。

2 計画の位置付け

深谷市産業振興計画は、基本構想及び基本計画で構成される深谷市総合計画の産業振興分野における行動計画として機能するものとし、本市の産業を振興する行政、企業（事業所）、農業、農商工団体等の担うべき役割とその活動の指針を示すものとし、



産業振興計画とは…
各団体、事業者、市民が各場面の主役となって、本市の産業を振興する計画

3 計画の期間

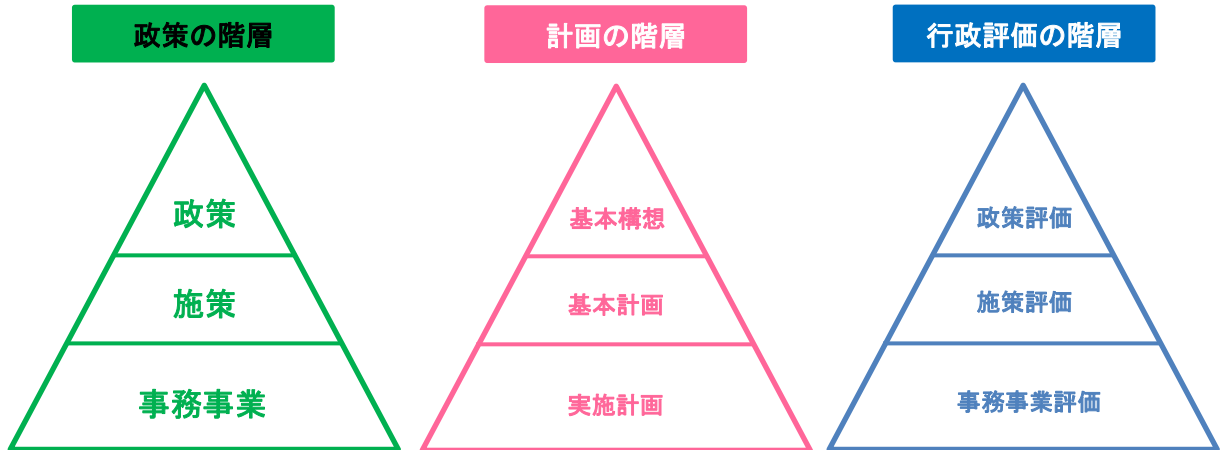
本計画の期間は、第2次深谷市総合計画後期基本計画の計画期間を踏まえ令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5か年とします。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
第2次深谷市総合計画後期基本計画				
産業振興計画(第九次)				
見直し	産業振興計画(第十次)			
	見直し	産業振興計画(第十一次)		
		見直し	産業振興計画(第十二次)	
			見直し	産業振興計画(第十三次)

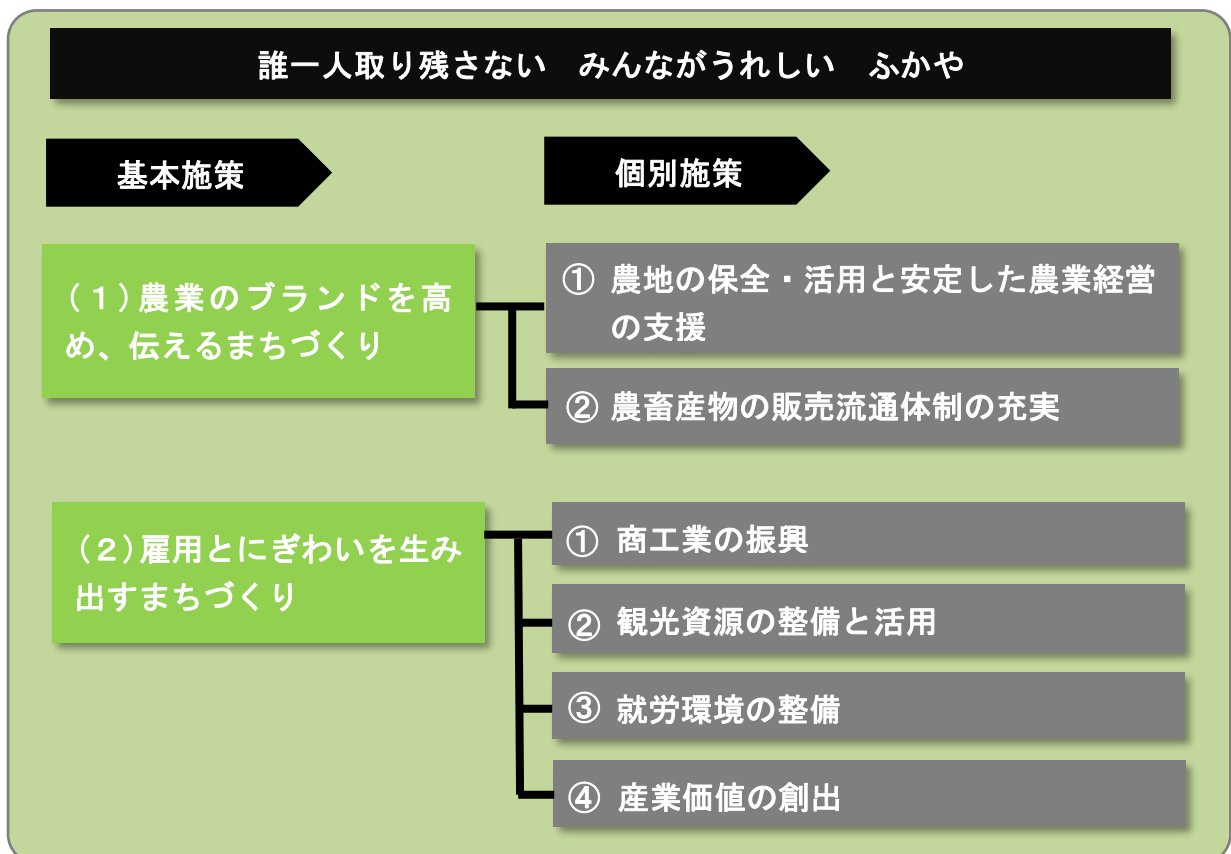
第2節 産業振興計画の施策体系

1 深谷市産業振興計画と深谷市総合計画との関係

産業振興計画は、第2次深谷市総合計画後期基本計画の詳細な行動計画とするため、総合計画の最下位の事務事業を連動した計画である実施計画的な位置付けとして策定します。



2 体系図



3 産業振興計画の施策と事務事業の関係

基本施策	個別施策	事務事業名称	事務事業 担当所属名称	予算事業名称
農業のブランドを高め、伝えるまちづくり	安定した農業経営の支援 農地の保全・活用と	農業施策推進事業	農業振興課	農業施策推進事業
		担い手育成支援事業		担い手育成支援事業
		農業振興地域整備推進事業		農業振興地域整備推進事業
		農園体験対策事業		農園体験対策事業
		砂ぼこり対策事業		農業施策推進事業
		農業基盤整備事業		農業基盤整備事業
		農業地域研修施設等管理運営事業		農業地域研修施設等管理運営事業
	販売流通体制の充実 農畜産物の	特産物 PR 事業	農業振興課	特産物 PR 事業
		農産物安全安心対策事業		農産物安全安心対策事業
		農産物振興対策事業		農産物振興対策事業
		畜産振興対策事業		畜産振興対策事業
		花植木公設地方卸売市場管理事業		花植木公設地方卸売市場管理事業
		深谷グリーンパーク管理運営事業		深谷グリーンパーク管理運営事業

基本 施策	個別 施策	事務事業名称	事務事業 担当所属名称	予算事業名称
雇用とにぎわいを生み出すまちづくり	商工業の振興	中心市街地及び商店街活性化 推進事業	商工振興課	中心市街地商業活性化推進事業
				商店街街路灯維持管理事業
		中小企業融資あっせん事業		中小企業融資あっせん事業
		中小企業経営安定化支援事業		中小企業経営安定化支援事業
		市内企業満足度向上対策事業		企業満足度向上事業
		起業家支援事業		起業家支援事業
		商工業活性化支援事業		商工業活性化支援事業
		商工会議所・商工会補助事業		
	企業誘致及び立地促進事業	産業ブランド推進室	工場等立地促進事業	
			産業拠点推進事業	
	企業立地関連促進事務			
	観光資源の 整備と活用	商工振興課	観光物産振興事業	観光物産振興事業
			道の駅管理事業	道の駅管理事業
		産業ブランド推進室	産業価値向上事業	
	就労環境 の整備	商工振興課	就業支援事業	就業支援事業
			勤労者福祉向上支援事業	勤労者福祉向上支援事業
			シルバー人材センター補助事業	シルバー人材センター補助事業
	産業価値の 創出	産業ブランド推進室	産業価値向上事業	産業価値向上事業
			アグリテック集積事業	アグリテック集積事業
			地域通貨推進事業	地域通貨推進事業

第2部の構成について

深谷市産業振興計画は、第2次深谷市総合計画後期基本計画の産業振興分野における行動計画であるため、「施策を取り巻く状況」などの記載については、後期基本計画の内容をそのまま転記しております。

なお、個別施策ごとの施策評価指標については、施策評価の数値を目標値として設定しております。



第2部 産業振興計画 施策別の取組内容

基本施策 1 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり 個別施策 (1) 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援

目指す姿

農地の保全と有効利用が進むとともに、担い手への農地の集積・集約などが進んでおり、時代の変化に柔軟に対応した安定的、効率的な農業経営が行われています。

◆現状と課題

【施策を取り巻く社会状況】

高齢化や担い手不足による農業就業人口の減少や耕作放棄地の増加、農業産出額の低下などが進んでいます。こうした中、令和元(2019)年度より人・農地プランの実質化のもと、効率的に農地利用などを行うため、農地の集積・集約化が進められています。

【深谷市の現状と課題】

- 1 効率的で安定した農業経営を促進するため、農地の集積・集約、農業生産基盤の整備を推進していますが、農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加、農業水利施設の老朽化などが進んでおり、その対応が求められています。
- 2 農業者の担い手確保のため、新規就農への支援を実施していますが、農業者の高齢化や担い手不足、農畜産物の輸入自由化など農業を取り巻く環境の変化に対応した取り組みが必要となっています。今後は、意欲と能力を備えた農業の担い手を確保し育成するとともに、農業経営の安定化に向けた効率化や高度化の取り組みが必要となっています。

◆取組方針

取組 1

農地を大切に守り有効的に使えるようにします

計画的なほ場整備を促進し、優良農地の保全を図るとともに、農業用排水路や道路などの農業生産基盤を整備、更新するほか、農業用ため池の耐震化対策などの整備を推進します。また、埼玉県農地中間管理機構と連携し、規模拡大などを行う担い手への農地の貸し付けや、耕作放棄地の発生防止及び解消のため、担い手による農地の集積・集約を促進します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	農業生産基盤等の整備 （農業基盤整備事業）	農道や用排水路などの農業基盤整備 農地改良事業 多面的機能の整備	農業振興地域内の道路や用排水施設等の整備により農業の生産性の向上、農業生産の増大、農業集落の生活環境が改善されている。
2	適切な農地管理 （農業振興地域整備推進事業） （農業施策推進事業）	農地中間管理事業 現地調査 補助金の交付 遊休農地のあっせん 離農者農地の貸し出し 除外審議、農用地利用計画の変更手続き 人・農地プラン見直し	担い手へ農地の集積・集約をし、効率的な営農および農地の有効活用がされている。 遊休農地化に伴う病害虫などの近隣耕作地への悪影響の排除や冬季における火災などを予防し、農地環境の健全化が進んでいる。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	適切な農地管理 （JA）	耕作放棄地の情報収集 担い手農家へのまとまった農地の提供	農業従事者の高齢化や後継者不足により活用されなくなった農地を集積・集約し、担い手農家へ提供することにより、耕作放棄地の発生防止・解消がされている。

取組 2

安定した農業経営と担い手の確保・育成を支援します

関係機関と連携し、収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供、法人化に向けた支援を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援を行います。また、新規就農希望者の速やかで確実な就農を支援し、担い手の確保に取り組みます。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	農業の担い手への支援 （担い手育成支援事業）	補助金の交付 研修会の開催 研修、就農先の紹介	経営に関する意識が向上し、安定した農業経営が定着するとともに、新たに営農を目指す担い手が増加している。
2	農業経営基盤の安定化と充実 （担い手育成支援事業）	融資審査会の開催 資金の融通 利子補給の実施	農業経営基盤が高度化・近代化され、安定した農業経営が定着している。

◆まちづくり指標（令和9（2027）年度末目標値）

	指標名	目標値	令和3（2021）年度実績
①	耕作放棄率	3.59%	3.10%
②	農業法人数	128 法人	98 法人



基本施策 1 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり 個別施策 (2) 農畜産物の販売流通体制の充実

目指す姿

市内農畜産物の認知度向上の取組により、深谷産ブランドに対する消費者のイメージが向上し、活気のある農業経営が行われています。また、イベントなどを通じて市外在住者にも魅力や価値を伝え、新鮮で安全・安心な農畜産物を提供しています。

◆現状と課題

【施策を取り巻く社会状況】

食の安全・安心に対する関心や産地などに関するブランド志向の高まりにより、消費者ニーズに合わせた農畜産物の流通、販売が求められています。

また、生産者の顔が見える対面販売やインターネットを通じた販売など、生産者の販売形態の多様化が進んでいます。

【深谷市の現状と課題】

- 1 消費者が市内産農畜産物を継続的に購入するために、引き続き安全・安心な農畜産物を安定的に供給する必要があります。
- 2 「深谷ねぎ」などの深谷産ブランドが広く消費者に認識されていますが、今後も関係機関と連携しながら、生産者の意識と技術の向上により市場における差別化を図り、深谷産ブランドをより強固にする必要があります。
- 3 これまでは販売促進イベントの支援などを積極的に推進してきましたが、今後も引き続き農畜産物の消費拡大を目指し、生産者が直接販売する機会を増やすなど販売形態に応じた販路拡大を促しつつ、消費者に安全・安心を伝えることが求められています。

◆主な取組と関連事業

取組 1

農畜産物の安全・安心の向上を目指します

消費者に安全な農畜産物を提供するため、関係機関と連携しながら、生産者に対して農薬や化学肥料の適正な使用を周知するとともに、家畜の防疫に取り組みます。また、農業用廃資材類の適正な処理を推進し、消費者の信頼を高める取組を行うとともに、生産者の顔が見える安全・安心な農畜産物の販売流通を促進します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	安全・安心な農畜産物の販売、流通 （農産物安全安心対策事業） （畜産振興対策事業）	農畜産物の生産者支援 牛・豚・鳥の疾病の蔓延防止 GAP 取得の推進	環境に配慮した農業生産及び農業生産工程の改善に取り組む生産者を支援するとともに、牛・豚の疾病の蔓延防止のための予防注射の推進などにより、農畜産物の安全性が確保され、消費者からの信頼が築かれている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	安全・安心な農産物の供給 （JA）	残留農薬調査 検査結果の情報発信	残留農薬調査を実施し、結果を公表することにより安全・安心な農産物の供給が促進されている。
2	安全・安心な農産物の供給 （市内各市場）	生産者の顔が見えるようなイベントの開催 GAP の取得	生産者と消費者の顔つなぎにより信頼関係を築かれている。 GAP の取得による、徹底した管理により安心安全な生産工程を築かれている。



取組 2

「深谷産」のブランド化推進と各種メディアなどを通じた PR に取り組みます

良質な農畜産物が市場において優位性を発揮できるように、「深谷産」のブランド化を推進します。また、安全・安心な深谷産農畜産物が市外の消費者に広く浸透するよう、各種メディアや SNS、深谷グリーンパークなどを通じた PR を行います。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	深谷産の農産物の PR （特産物 PR 事業）	トップセールス 産業祭等の各種イベント （市内外）での農畜産物 PR 農業者団体 （深谷市花き生産組合連合会、ふかや園芸協会）への補助金の交付	深谷産農畜産物の消費拡大及び産地としての認知度が向上している。 農畜産物のブランドイメージ向上により、深谷産の価値が高まり、深谷の知名度があがるとともに、農業経営者等の安定的な経営が行われている。



国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	深谷産農産物の認知度向上 （埼玉産直センター）	収穫祭や収穫体験等のイベントの開催。 生産者、消費者の交流 パッケージングの工夫	深谷産農産物の認知度が向上している。
2	深谷牛のブランド推進 （特撰黒毛和牛振興協議会）	リーフレットの配布、ふるさと納税、ホームページやSNSなどを活用したPR 配合飼料の統一化などの品質管理の徹底	地産地消によるプレミアム感が生まれるとともに、リピーター率が向上している。
3	武州和牛のブランド推進 （埼玉武州和牛）	伊勢丹等のデパートでのPR 県外イベントへの積極的な参加	和牛としての県内統一ブランド化が進んでいる。
4	イベントの開催や、他業種とのコラボレーションによる地元野菜のPR。 競（セリ）の実施や見学会 （市内各市場）	生産者のイベント参加	生産者が消費者の反応を見ることができており、生産意欲が向上するとともに、品質が向上されている。
5	深谷産農産物の認知度向上 （深谷市花き生産組合連合会・ふかや園芸協会）	イベント開催	ふかや花フェスタ・産業祭・ねぎサミット等のイベント参加や、JAとのタイアップにより農産物の販売促進及び栽培講習会等の開催を行い、花きの生産も盛んである深谷の認知度向上が図られている。
6	深谷産農産物のブランド化の推進 （ふかや4Hクラブ）	イベント開催 通信販売	深谷産農産物を通信販売することにより、全国に向け良質な深谷産農産物の認知度向上が図られている。

取組 3

消費者ニーズに対応したさまざまな販売形態を促進します

消費者のニーズにあった農畜産物を提供するため、生産者、関係団体と連携しながら農畜産物の生産、販売、流通を促進します。また、生産者が直接販売することができる場を提供するとともに、生産者によるインターネット通販や契約販売など、さまざまな販売形態に応じた販路拡大を促進します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	6次産業化の推進 （産業価値向上事業）	ふるさと納税事業者やベジタブルテーマパークフカヤパートナーズ登録事業者同士のマッチング	6次産業化の推進により、農畜産物に新たな付加価値を生み出し、農畜産業者の所得向上と経営安定化を図り「儲かる農業」が広まっている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	養豚のPR （畜産関係者）	HP等により全国へPRイベントへの参加	販路が拡大されている。
2	牛乳および6次産業化商品のPR （酪農関係者）	HP等により全国へPRイベントへの参加	ジェラートなどの6次産業化された商品の認知度および消費が拡大されている。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	事業者、生産者の連携による新商品の開発	事業者、生産者の交流や連携	市内農畜産物を活用した新商品等が継続的に開発されている。

◆まちづくり指標（令和9（2027）年度末目標値）

	指 標 名	目標値	令和3（2021）年度実績
①	農業産出額	359億円	309億円
②	市外の店舗で深谷産農畜産物の販売を目にする機会がある割合	62.0%	60.8%

基本施策 2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり

個別施策（1）商工業の振興

目指す姿

市、事業者、経済関係団体などが一体となって、外部環境の変化に対応しつつ、市内の事業所では安定した経営が行われています。また、市外からの新たな事業所や、新たに起業・創業する事業者が増加しています。

◆現状と課題

【施策を取り巻く社会状況】

全国的にみて、倒産件数は低水準となっていますが、経営者の高齢化や事業承継などが課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、飲食、観光関連業態は著しい影響を受けました。一方、いわゆる巣ごもり消費に対応した業態は好調であり、消費行動の変化への対応が求められています。

【深谷市の現状と課題】

- 1 中小の事業者が日々の経営活動で感じる疑問などを経済関係団体などと協力しながら解決できるよう、相談体制を整えているほか、資金需要に応えられるよう、融資制度を整えています。今後も、経営の安定化に向け、事業者に対する支援が必要となります。
- 2 商工業の振興を目的に、市内産業を紹介するイベントの開催やPR活動、中心市街地および商店街の活性化に取り組んでいます。今後も、活力ある商工業の振興を目指すため、市、事業者、経済関係団体などが一体となって推進する必要があります。
- 3 新たな企業の誘致や市内企業の留置のために、深谷市の相談体制を整えています。また、他企業とのよりよい交流を促し、事業活動が活発になるよう支援するとともに、工場などの新設、拡張を支援しています。これらの取組を通じ、今後も企業の定着と進出を促していく必要があります。
- 4 経済関係団体などと協力しながら、新たな起業を支援しています。今後も、女性や高齢者を含め意欲あるかたの起業を支援し、事業者の増加を促していく必要があります。

◆取組方針

取組 1

中小企業経営の安定化と成長を支援します

市内の中小企業が安定した経営基盤を備え、事業を継続し、成長していけるよう、事業者が経営について相談できる体制の整備や、環境変化に対応できるよう支援を行います。また、必要な運営資金を確保できるよう制度を運営します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	運転資金等低利融資のあっせん （中小企業融資あっせん事業）	金融機関を通じて、運転資金、設備資金の融資をあっせんします。	市内中小企業者の、経営の合理化、設備の近代化を図られている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	中小企業の安定と発展のため、全力で、全事業で取り組みます。 （深谷商工会議所）	商工会議所の主目的として、全力、全事業で取り組みます。	中小企業の経営が安定し成長している。
2	経営者としての心構えを勉強する場を設ける。 （深谷商工会議所青年部）	著名な方の講義はもちろん、手づくり感のある講義、講習の場を設け、会員の知識向上を図る。	事業を担っていく会員が、十分な知識を得られている。
3	会員事業者の経営を強化する。 （ふかや市商工会）	経営革新指導等を通じて、事業を見直していただき、結果経営の安定と成長を支援。	会員が安定的に成長している。
4	地域を良くするための土台である、自分たちの事業を強化する。 （深谷青年会議所）	講師等呼んで、経営に関する勉強会を行う。	盤石な体制の下、地域貢献活動を行っている。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	事業後継者育成講座の提供 （りそなマネジメントスクール） 自社株評価サービスの提供 （埼玉りそな銀行深谷支店）	中堅・中小企業の事業後継者に対して経営の各領域に亘る幅広い知識・能力の習得と人脈形成を支援する。 自社株式の仮定に基づく概算額の情報提供を通じて円滑な事業承継に向けた各種対策実施を支援する。	経営者の皆さまの様々な悩みに応えられるよう各種ソリューションの提供体制を整備していくことで市内中小企業の事業継続、更なる成長発展に繋げていくことができている。
2	資金調達方法の多様化に向けた金融商品の充実 （群馬銀行深谷支店）	中小企業経営者に対して後継者情報や株主構成のヒアリングを実施し、お客様毎に最適なソリューションを提供することにより、円滑な事業承継を実現し、地域経済活力の維持・向上を支援する。 事業承継セミナーや個別相談会の開催により経営者や後継者に対して知識の習得等を支援する。 関連会社との連携による幅広いプラン提供。	地域経済の持続的発展への取組みとして、地域事業者の皆さまの成長支援や地域活性化に向けた取組みを充実させるとともに、お客様の多様なニーズに応じた金融サービスを提供している。 また、次世代の担い手を育成するための多様な教育機会を提供している。

取組 2

商工業の活性化や商店街のにぎわいづくりを支援します

市内の事業者をはじめ、経済関係団体などと協力しながら、深谷市の商工業活性化を図るため、市内産業の製品やサービスの高付加価値化を支援するとともに、イベントの開催などを通じて市内事業所や産業を市内外にアピールします。

意欲的な小売店舗や商店街とともに、中心市街地に位置する商店街の活動が活発化するように支援します。また、にぎわいをつくり出すため、中心市街地の空き店舗対策を推進します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	特色ある中心市街地、商店街づくりを助成（中心市街地商業活性化推進事業）	中小小売商業高度化構想（TMO事業）の実施。空き店舗対策。	深谷駅北側中心市街地に魅力ある商業空間が形成されている。
2	街路灯電気料、修繕料補助（商店街街路灯維持管理事業）	商店街街路灯の維持管理補助。	商店街街路灯が良好に維持されている。
3	団体への補助。産業祭の開催。（商工業活性化支援）	市内商工団体のイベントへの参加費補助や、市内産業を紹介するイベント（産業祭）を開催します。	市内商工業の活動活性化が図られている。
4	商工会議所、ふかや市商工会活動への補助。（商工会議所・商工課補助）	経営支援の専門家である商工会議所、ふかや市商工会の活動へ補助をする。	商工会議所、ふかや市商工会の活動を通じて、市内商工業の活性化が図られている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	イベントの開催等を通じて支援する。 （深谷商工会議所）	屋台村の運営、妙見市などの催事への支援を通じて支援する。	商店街のにぎやかさが創出されている。
2	深谷ブランドを広く発信していく。 （深谷商工会議所）	特産品を市内、市外、県外、国外に発信していく。あるものはPRしていく。ないものは作っていく。	深谷ブランドが広く知られている。
3	青年部主体で、市内大学等の知識、技術を紹介し、会員、市民のニーズにマッチングさせる。 （深谷商工会議所青年部）	青年部主体で、市内大学等の知識、技術を紹介し、会員、市民に提示する場を設ける。	商工会議所青年部が、市内学術団体の知識、技術を広く知らしめている。
4	市外からのお客様に、地域をアピールする。 （ふかや市商工会）	アウトレットモール等に来所する市外のお客様にアピールするため、商工会独自の商品開発を行う。	商工会独自商品により、ふかや市商工会会員の活躍の場が広がっている。
5	「支部」の特色を生かした活動に取り組む。 （ふかや市商工会青年部）	「支部」のイベントに他の「支部」が参加していくことにより、さらに特色あふれる活動にする。	さらなる特色ある地域活動を行っている。
6	「参加すれば楽しい」をみんなに伝えていく。 （深谷青年会議所）	イベントを通し、「参加」していこうという気持ちを広く醸成していく。	「誰でも参加できる街づくり」に向け、自分も参加していくのだ、と思う人たちが大勢いる。
7	中小企業の経営革新計画承認の推進 （埼玉県北部地域振興センター）	商工団体等との連携による制度の周知	経営革新計画承認制度の周知を図るとともに、計画作成を支援する専門家を派遣するなど、承認を推進している。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	素敵な商店街を作ります。 （深谷商店街連合会）	自主的な勉強会を通じて学んだ技術を生かし、素敵な商店街を作ります。	初めてのお客様が気軽に立ち寄れる商店街が作られている。
2	中心市街地における顧客誘引力の向上 （深谷商店街連合会 活性隊）	中山道沿線において事業者主体のイベントやセミナーを開催	事業者間の意識の向上及び中心市街地における顧客誘引力の向上に貢献している。 新庁舎と深谷駅との導線上にある商店街の位置づけを活かし、深谷の魅力向上に貢献していきたい。
3	地場産の野菜で漬物を作り、関東圏、国外まで販路を築くことにより、深谷漬物のブランド力を向上させる。 （深谷地区漬物協会）	地場産の野菜で漬物を作り、関東圏、国外まで視野に入れて、販路を築いていく。	漬物ブランドが知れ渡っている。
4	産業祭など、イベントの際に物産紹介を行う。（銘醸会）	イベントの際に出席し、地域資源である地酒をアピールしていく	地酒の良さが広く知られている。



取組 3

企業誘致・留置に取り組みます

一定条件の工場などの新設、増設を支援し、市内への企業の誘致、市内で活動する企業の留置を図ります。また、市内事業所が活動しやすくするため、市への要望などをしやすいよう、緊密な関係を築きます。また、市内事業所間の連携強化を図るため、事業所同士の交流を促進するなど、市内全体で盛り上げるよう活動します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	税金の優遇制度等奨励措置を整える。 （工場等立地促進事業）	工場等を設置し、新たな投資、新規雇用を生み出す事業者に、固定資産税の減免等の奨励措置をとる。	多くの雇用が期待できる工場等の進出による、安定した就業機会の確保が図られている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	組合間の情報交換を推進し、構成団体が発展し、市内企業の留置につながる。 （深谷工業連絡会）	視察等を手段として、組合事業所間の情報交換を活発にし、より良い工業連絡会を作る。	組合間の情報交換を推進し、構成団体が発展し、市内企業の留置につなげる。また地区が発展することにより、新たな企業誘致につなげる。



取組 4

起業しやすい環境づくりに取り組みます

経済関係団体などと連携しながら、起業を希望する方に必要な情報やノウハウなどを提供し、事業開始時の負担を軽減するとともに、起業後の事業定着に向けた取組を支援します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	新規起業家へ助成を行う。 （起業家支援事業）	新規起業家に対し、その起業にかかった経費の一部を補助する。	多くの新たな起業により、若々しい商工情勢の形成が図られている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	起業を志す人、事業者の皆様への支援体制を充実・強化する。（深谷商工会議所）	総合的な相談窓口としての役割を強化し、起業を志す方の掘り起し、起業後のフォローアップをしていく。	新たに起業を志す人が、安心して行動を起こしている。
2	経営相談を通じて、起業した事業者の支援をしていく。（ふかや市商工会）	資金計画を含め、経営全体的な相談体制を整えることにより、起業を志す人が安心して行動できるようにする。	新たに起業を志す人が、安心して行動を起こしている。
3	起業した後の、仲間作りに貢献する。（深谷青年会議所）	会員として、お互いに近い立場で、フレンドリーに学びあえる関係を築き、市内産業に貢献する。	強固なネットワークを構築している。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	法人成立1年未満の起業家向け各種割引サービスの提供（埼玉りそな創業応援パック） （埼玉りそな銀行深谷支店）	インターネットバンキングや法人向けクレジットカードによる業務効率化、税務や法務などの専門家への相談業務についてのサービスを一定期間無料とする。	創業時の様々なビジネス課題に対して適切なサービスをお得な価格で提供することで、起業家の育成を支援していくことができる。

◆まちづくり指標（令和9（2027）年度末目標値）

	指標名	目標値	令和3（2021）年度実績
①	法人市民税額	14億2千万円	12億7千万円
②	新たに誘致した企業数（累計）	72社	62社



基本施策 2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり

個別施策 (2) 観光資源の整備と活用

目指す姿

観光資源を発掘・活用し、花園 IC 拠点地区周辺エリア及び各道の駅などを観光情報の拠点として来訪者の市内回遊を促すことにより、深谷市の認知度が高まり、観光客が増加しています。また、市民と来訪者の交流が活性化し、まちに活気が生まれています。

◆現状と課題

【施策を取り巻く社会状況】

国は、令和 2 (2020) 年の訪日外国人観光客数の目標を 4,000 万人としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実績はその 10 分の 1 程度となるなど、全国の観光業は極めて深刻な打撃を受けました。コロナ禍の収束を見据え、新しい生活様式のもとで、観光による交流人口の増加を図る動きも活発になっています。

【深谷市の現状と課題】

- 1 市内の観光スポットや3カ所ある道の駅は多くの来訪者でにぎわっています。また、大河ドラマ放送を機に、渋沢栄一の生誕地などの関連施設のほか、畠山重忠ゆかりの地など、深谷市の魅力ある観光資源の活用が図られたことで、深谷市の認知度が高まっており、今後も、来訪者の増加に向けたさらなる取組の推進が必要です。
- 2 観光客を増加させるためには、地域の特色や魅力を活かす取組が大切です。地域に定着した体験型プログラム「深谷えん旅」事業では、通年化への移行により、年間を通して参加事業者や実施プログラムを提供できるようになりました。今後は、花園 IC 拠点地区などへの来訪者の市内回遊を促す仕組みを構築し、市内に滞在することで、深谷市の魅力をさらに感じてもらうことが大切です。
- 3 花園 IC 周辺のアウトレットモールや深谷テラスが令和 4 (2022) 年に開業し、広域からの来客により賑わいのある拠点が形成されています。今後、深谷テラスでは、深谷市の農業や観光に資する取組を関係団体と連携しながら進める必要があります。

◆取組方針

取組 1

「ふかや」の認知度を高めます

「ふかや」の魅力を戦略的に発信するため、メディアなどの多様な媒体を活用し、効果的な情報発信を行います。さらに、花園 IC 周辺のアウトレットモール、深谷テラス及び JR 深谷駅などの各鉄道駅、各道の駅を観光情報の発信拠点とし、関係機関と連携しながら観光情報への多様なニーズに対応します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	市の魅力を戦略的に情報発信する。 （道の駅管理事業、サングリーンパーク管理運営事業）	観光アクセス拠点を観光情報の発信拠点として活用	関係機関と連携して観光情報への多様なニーズに対応している。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	案内所やパンフレットによる観光情報の発信 （深谷市観光協会）	観光案内所やホームページによる発信、深谷観光ガイド等の作成	市や市内関係団体と連携して深谷の観光情報を収集し、パンフレットやホームページ、案内所を通じて深谷の魅力を発信している。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	「道の駅おかべ」及び「道の駅はなぞの」における集客力を活かした地域振興と観光情報の発信 （ふかや物産観光株式会社）	地域に根差したイベントの開催 メディア等を活用した情報発信	「道の駅おかべ」「道の駅はなぞの」を観光情報の発信拠点としての機能強化を図り、またタイムリーな季節行事イベントを開催し、集客力が増加している。
2	深谷市をロケ地の聖地としたい （深谷フィルムコミッション）	映画やドラマ関係者へのロケ地の紹介 SNS を活用したロケ情報の発信	市と連携し、映画・ドラマ等の情報共有を図りながら、市内のロケ地を紹介し、観光資源を活用しながら深谷の魅力を最大限に発信している。

取組 2

来訪者が市内に滞在できる回遊策に取り組みます

市内を訪れる方に深谷の魅力を最大限に堪能してもらうため、史跡などの観光地や野菜や物産品などを購入できる場所を巡る市内回遊の情報を提供するとともに、観光施設の充実や観光資源を活用した体験型イベントプログラムの充実を図ります。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	本市を訪れる方に深谷の魅力を発見できる場や機会の提供 （観光物産振興事業）	体験型イベント・プログラムの開催 観光施設の整備	観光資源を活用した体験型イベント・プログラムの充実が図られている。 観光客が新たな魅力を発見できる場や機会が提供されている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	深谷三大まつりの開催 （桜まつり・七夕まつり・深谷まつり） （深谷市観光協会）	イベントの開催	深谷市街地・中山道周辺の歴史・文化を観光資源として観光産業の発展に寄与している。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	郷土料理「煮ぼうとう」の振興 （武州煮ぼうとう研究会）	市内外のイベントへの参加 煮ぼうとうを振興する団体への技術支援や後継者育成	市内外へのイベントへ参加し、「煮ぼうとう」を活用した観光の振興が図られ、次世代に伝えていくための後継者育成などが行われている。



取組 3

多様な主体との連携による観光資源の活用を通じて地域の活性化を図ります

市内産業をテーマとしたイベントや体験型事業などの実施により、農商工団体と連携しながら観光資源の整備と活用を図ります。さらに、アウトレットモールをはじめとした花園 IC 拠点地区などの集客力を生かし、農業・観光・商工の情報発信などを行うとともに、観光資源やイベントなど周遊する観光ルートを設定し、市内への観光や消費行動につなげます。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	観光客の利便性の向上を図るため、観光施設とのネットワーク化 (観光物産振興事業)	観光客の利便性の向上を図るため、観光施設とのネットワーク化 市内外の歴史観光資源やイベントなどを活用した観光ルートづくり	観光アクセス拠点と観光施設とのネットワーク化の促進。 商業スポットとなるアウトレットモール等の集客力を市内での消費につなげていけている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	観光案内 (深谷市観光協会)	駅構内の観光案内所、観光協会ホームページによる観光客への情報発信	観光客への市街地PRの充実。 観光施設、イベント主催団体との情報交換が図られている。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	市の南玄関に位置する道の駅はなぞのと、北玄関に位置する道の駅おかべを観光アクセス拠点として、市内への観光や消費活動につなげていく。 (ふかや物産観光株式会社)	地域物産品等のPRやイベントを開催し、市内観光の出发点とした取り組みを行う。	道の駅おかべとはなぞのの利便性を活かし、市の玄関口として立寄型の観光を目指し、市内への観光振興を図るための出发点としての機能が強化されている。

◆まちづくり指標（令和9（2027）年度末目標値）

	指標名	目標値	令和3（2021）年度実績
①	市内観光入込客数	1,118万4千人	353万3千人
②	年間延べ宿泊者数	12万8千人	11万6千人



基本施策 2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり

個別施策 (3) 就労環境の整備

目指す姿

就労意欲のある市民の働く機会が確保され、市内の雇用が安定しています。また、多様な働き方への対応など、市内労働者の労働環境が向上し、仕事と生活の調和が図られています。

◆現状と課題

【施策を取り巻く社会状況】

少子高齢化の進行により、労働力人口の減少が進むなか、平成31（2019）年4月から働き方改革関連法が順次施行され、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会の実現が求められています。また、パートや派遣労働者などの非正規雇用の待遇改善など、労働者を取り巻く環境は大きく変化しています。

【深谷市の現状と課題】

- 1 市内企業への就労を促進するため、国と連携し、深谷市ふるさとハローワークを設置し、また、就職相談や就職支援セミナーの開催などを県と連携し行っています。今後も引き続き、市民の就労実現に向けた支援を行うとともに、企業や関係団体などと連携を図りながら、市内企業の魅力の発信と就業の定着に向け、各企業における事業の方向性や求める人材像などについて、求職者が企業と対話できる機会の確保が必要です。
- 2 仕事と生活の両立の問題により将来への不安を感じ、就労を断念することもあるため、労働者の福利厚生維持向上を図るなど、労働環境の改善に向けた支援がこれまで以上に必要となっています。

◆取組方針

取組 1

意欲ある人が働くことのできる環境を整えます

ハローワークなどの関係機関と連携しながら、全ての求職者に対して就業に向けた情報や相談の場を提供するほか、人材のマッチング支援などにより、市内企業への就労の定着を図ります。また、関係部署と連携しながら、年齢や性別など一人ひとりが個性を活かし就労できるよう、幅広い支援を進めます。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	職業紹介、内職紹介、就労相談を実施します。 （就労支援事業）	就労を希望される方が、就労先を見つけやすいよう、職業・内職紹介、就職相談を行います。	就労を希望するかがスムーズに就労につながるよう図られている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	国（厚生労働省）が運営する職業紹介機関として、専門の職員が職業相談・職業紹介を実施します。 （熊谷公共職業安定所）	就職までのステップに合わせて各種支援策を用意し、就職活動に関する相談に応じます。	求職者の仕事への興味・関心、経験・能力に合った仕事探しの支援ができています。
2	就職を希望する高校3年生を対象とした合同企業説明会を実施します。 （埼玉県北部地域地方創生推進協議会）	労働関係機関と連携して、合同企業説明会を実施します。	就職を希望する高校生の埼玉県北部での就職を促進するとともに、職業意識の向上、就職活動への理解について支援する。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	多くの会員の皆様に多くの的確な仕事を提供していきます。 （シルバー人材センター）	企業・個人より多くの仕事をいただき、与えられた職務を遂行していきます。	多くの会員が自分の力を発揮できる就業ができています。

取組 2

多様な働き方を支援します

労働者が安心して働くことのできる環境を整えるため、県や労働関係機関と連携しながら、働きがいのある仕事として、収入の安定や仕事と生活の調和に向けた中小企業における福利厚生充実などの必要な支援を行います。また、多様な働き方を支援するため、県と連携し各種セミナーを開催するなど、情報提供や意識啓発を図ります。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	勤労者の福祉事業を補助する。 （勤労者福祉向上支援事業）	退職金共済掛金補助、大里地域勤労者福祉サービスセンターへの補助、住宅資金貸し付けのあっせんを行います。	勤労者の福祉事業を向上させ、安心して働ける状況の創出が図られている。
2	高齢の方の就労機会を確保します。 （シルバー人材センター補助事業）	シルバー人材センターに援助することにより、高齢の就労希望者の就労の機会を確保します。	就労希望の高齢者が、スムーズに適切な就労機会を得られている。



国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	就労環境改善に向けての取り組みを行う。 （深谷商工会議所）	従業員向けスキルアップセミナーや、各種支援。	安心して働くことのできる環境が整い、雇用の安定化が図られている。
2	多様な働き方実践企業の認定の推進 （埼玉県北部地域振興センター）	情報発信	短時間勤務等の多様な働き方を実践している企業を認定し、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりを進めている。
3	中小企業の被雇用者の皆様が安心して暮らすことが出来るよう、共済事業を行う。 （大里地域勤労者福祉サービスセンター）	生活の安定のため、傷病休業保険金の支給、祝い金の支給等事業を行う。	中小企業の被雇用者の皆様が、安心して暮らしている。
4	中小企業の被雇用者の皆様の健康増進と活力が生まれるための事業を行う。 （大里地域勤労者福祉サービスセンター）	人間ドック等を受けた方への補助、レジャー等への補助を行う。	健康管理をしっかりと行うとともに、生き活きと仕事に励める意欲につながっている。
5	労働環境の整備、向上をめざし、会員間の情報交換に取り組めます。 （熊谷・深谷・寄居地域労働者福祉協議会）	会員が集まり、自由に話し合いができる場を作り、情報交換を通じて、就労環境の改善につなげる。	会員相互間の意見交換が活発になり、各単組のより良い活動につながっている。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	事故件数0件を目指し取り組みます。 （シルバー人材センター）	安全委員会を主体とした、安全就業確保の活動に力を入れる。	安全に就業することが出来ている。
2	「深谷市勤労者住宅資金貸付制度」に基づく融資制度の取扱い （中央労働金庫熊谷支店）	店頭へのチラシ設置により、制度内容を周知し、利用を促進します。	低利な融資制度の利用促進を図り、勤労者の方の住宅取得等の支援が行えている。

◆まちづくり指標（令和9（2027）年度末目標値）

	指 標 名	目 標 値	令和3（2021）年度実績
①	有効求人倍率	1.38 倍	1.12 倍
②	仕事と生活のバランスが取れている市民の割合	81.0%	70.3%

基本施策 2 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり 個別施策 (4) 産業価値の創出

目指す姿

深谷市の産業の強みである農業を生かした産業ブランディングにより、「儲かる農業都市ふかや」の実現に向けた官民連携の取組が数多く展開され、深谷市の産業が持続的に発展しています。

◆現状と課題

【施策を取り巻く社会状況】

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によれば、我が国の生産年齢人口は令和22(2040)年には約6千万人まで落ち込みます。税収の落ち込みとともに産業の担い手不足が懸念されており、効率と付加価値が高い、魅力的な産業の創出に向けた取組が全国各地で行われています。一方で、近年の情報通信技術の発展は目覚ましく、これらを活用した新たな産業のあり方が国内外において模索されています。

【深谷市の現状と課題】

- 1 平成30(2018)年度に定めた「深谷市産業ブランディング推進方針」に基づき、農業を核とした産業ブランディング「儲かる農業都市ふかや」を実現するための取組として、「野菜を楽しめるまちづくり戦略」「アグリテック集積戦略」「地域通貨導入戦略」を相互に連携させながら継続的に展開しています。
これら3つの取組は、官民連携の手法を用いた先進的な試みとして、全国から注目を集めています。「野菜を楽しめるまちづくり戦略」については、市内観光回遊を促すため、野菜や農業をテーマとして観光の振興を図っていくことが重要です。
- 2 「アグリテック集積戦略」については、農業課題を解決する技術などをもった企業を誘致するための取組を行うとともに、農業の持続性を高めることが重要です。
- 3 「地域通貨導入戦略」については、地域内の経済循環を進めるために認知度の向上や流通量の拡大を図っていく必要があります。

◆取組方針

取組 1

農畜産物をテーマとした観光回遊を推進します

地域の生産者や事業者と連携し、花園 IC 周辺のアウトレットモールや深谷テラスへの来訪者を市内観光回遊へとつなげる取組として、野菜や農業を観光資源としたベジタブルテーマパークフカヤを推進します。

これにより、市内各所への人の流れを生み出し、地域産業の活性化を促進します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	花園 IC 拠点等への来訪者に向けた市内回遊策の実施（地域産業活性化事業）	○事業者等の体験型コンテンツ実施促進 ○花園 IC 拠点や WEB 等を活用した情報発信	深谷市を農畜産物、観光で、「何度でも訪れたいまち」にし、市内回遊を促している。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	事業者も一体となった情報発信（市内商工団体）	○会員に向けた呼びかけや交流機会の創出	事業者自身やエリアの魅力発信を、行政のみならず商工団体や事業者も一体となって行っている。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	魅力的な商品開発や、体験コンテンツの実施（事業者・生産者）	○パートナー会議やマッチング支援	事業者が自発的に農畜産物等を活用した商品開発や体験コンテンツを実施している。

◆取組方針

取組 2

農業課題解決に向けた企業を深谷市に集めます

農業課題を解決する技術をもったアグリテック関連企業を深谷市に集めるため、アグリテックと生産者のマッチングを行い、農業現場における課題解決を推進します。こうした活動を通じて、アグリテックが実現できるまちづくりに取り組みます。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	アグリテック企業の集積 （アグリテック集積事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業間、農業現場関係者との交流促進 ・アグリテックアワードの開催 ・実証実験実施等の伴走支援 ・情報発信 	アグリテック企業との継続的なコミュニケーション創出により本市への進出可能性を高め、アグリテックの現場導入及び企業誘致が自走的に行われている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	アグリテックの実証実験実施に係るサポート（県、JA、出荷団体）	・助言、実証実験への立会い	実証実験に際し、測定や技術的な助言等を行うことで、より現場で使えるアグリテックの実現に近づける。
2	現場での普及サポート（県、JA、出荷団体）	・普及活動	現場の普及活動において、アグリテックが用いられている。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	実証実験の実施 （アグリテック企業）	・行政、生産現場への連絡調整	現場での実証実験を重ねることで、現場で役立つアグリテックの開発をし、市内へ事務所や開発拠点等を設置する。
2	有償サービスの提供 （アグリテック企業）	・有償サービスの提供	有償サービスが提供され、ビジネスとして自走している。

◆取組方針

取組3 地域通貨の活用と普及を推進します

デジタル技術を用いた地域通貨の活用と普及を継続的に推進します。これにより市内で利用されるお金の割合を高め、地域課題の解決を図り、人口減少社会において、元気で活発な地域経済の実現に向けた取組を推進します。

深谷市		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	利便性向上・利用者増加に向けた店舗開拓や、行政事業と連携した地域通貨ネギーの発行 (地域通貨推進事業)	市内事業者への取扱案内 関係部署との連携	市内事業者の多くでネギーが利用されている。 各種行政事業と連携し、事業のコスト削減や、地域課題の解決に寄与する取組が行われている。

国・県・関連団体		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	商工団体のイベントや店舗独自のキャンペーン等実施時における、ネギーの活用 (市内商工団体)	イベント開催時のネギー利用	イベントの景品等にネギーを用いられている。 商店街ポイント等にネギーを絡めることで地域の振興に寄与した取り組みが行われている。

企業・事業者等		期間中の事業の進め方	
主な取り組み		手段（業務）	期間中に目指す状態
1	適切な決済・取扱方法の理解 ネギー加盟店であることの周知 (取扱店舗)	店舗登録時における決済・取扱マニュアルの送付 店頭、レジ付近へののぼり、加盟店ステッカーの掲示	来店者がネギーで支払いができるお店であることがわかる。 決済方法・取扱方法が理解されており、支払いが滞りなく行われている。

◆まちづくり指標（令和9（2027）年度末目標値）

	指標名	目標値	令和3（2021）年度実績
①	アグリテック関連事務所設置数（累計）	10件	3件
②	地域通貨流通額	4.0億円	1.0億円

第3部 プロジェクト事業の展開

1 深谷市総合計画主要プロジェクトと事業の推進方針

第2次深谷市総合計画後期基本計画では、先導的かつ重点的に推進すべき取組を主要プロジェクトとして位置付け、将来都市像「元気と笑顔の生産地ふかや」の実現に向けて基本方針「誰一人取り残さない みんながうれしいふかや」を掲げ、次の5つのプロジェクトによる各種施策の展開を図ります。

第3部では、この主要プロジェクトに位置付けられた事務事業と深谷市として進むべき方向性を示すとともに、プロジェクトの意図した効果を最大に発揮するための事業の推進方針を示すものとします。

2 第2次深谷市総合計画主要プロジェクト

○プロジェクト1	渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト
○プロジェクト2	農業の強みを生かした産業振興プロジェクト
○プロジェクト3	「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト
○プロジェクト4	行政デジタル化推進プロジェクト
○プロジェクト5	ゼロカーボンシティ推進プロジェクト

この5つの基本戦略のうち、「プロジェクト1 渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト」、「プロジェクト2 農業の強みを生かした産業振興プロジェクト」、「プロジェクト3 「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト」の3つのプロジェクトについて、7つの事業を推進していきます。



○プロジェクト1

渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト

【プロジェクトの方向性】

郷土の偉人渋沢栄一の叡智とチャレンジスピリットについて、次世代を担う人材育成に活用し、その理念を後世へと継承する取組を推進することで、未来を切り拓く力を育成し、深谷市の持続可能な発展を目指します。

一万円札の発行を見据え「渋沢栄一＝深谷市」というイメージを全国に広げるとともに、渋沢栄一の理念に基づいた深谷市ならではのSDGsの目標達成に向けた取組を推進することで、民間企業との連携を図ります。

渋沢栄一の理念を胸にさまざまな変革に挑戦する企業の知恵を学ぶ場を提供し、新たな時代を切り拓く人材の育成に取り組むとともに、起業しやすい環境づくりを推進することで、渋沢栄一の理念を継承する次世代の企業人づくりを進めます。

【主な取組】

○起業しやすい環境づくりの推進

新たな事業の創出や、地域経済の活性化を促進するため、商工団体、金融機関などと連携しながら、起業を支援するとともに、起業後の事業定着に向けた支援を推進することで、渋沢栄一の理念を汲んだ起業家など、次世代の企業の担い手を創出します。

- ・ 起業家支援事業

【プロジェクト指標】

指標名	実績値 令和3（2021）年度	目標値 令和9（2027）年度
渋沢栄一ひとづくりカレッジの参加者数	351人	30万人
SDGsの認知度	77.2%	92.2%

○プロジェクト2

農業の強みを生かした産業振興プロジェクト

【プロジェクトの方向性】

深谷市の基幹産業である農業の強みを生かした持続可能なまちづくりを進めるとともに、埼玉県北部地域の中核的な自立都市として発展することを目指し、産業の活性化を図ります。

全国有数の生産量を誇る野菜などを活用して、人の流れを生み出し、市内に人を呼び込むとともに、新たな起業誘致や6次産業化、「ふかや」のブランド力の向上、滞在型・体験型観光の展開、地域通貨の活用などにより、農業の強みを生かした産業の活力創出を図ります。

【主な取組】

○野菜をテーマとした人を呼び込む取組の推進

深谷市への人の流れを創出するため、野菜を観光資源として活用する取組を推進します。

ふかやといえは「野菜を楽しめるまち」というイメージを確立し、深谷市特有の農業の魅力を発信することで、市内に人を呼び込み、観光回遊を実現するための「ベジタブルテーマパークフカヤ」の取組を推進します。

- ・地域産業活性化事業

○農業先進都市を目指す新たな企業誘致の推進

農業・食品関連企業の集積を図ることにより、深谷市の産業の持つ強みを伸ばします。

また、深谷市発の農業技術の進化・変革を発信し、深谷市に農業関連企業や技術革新を得意とする企業を誘致・集積することにより、全国でも名だたる農業先進都市を目指す「DEEP VALLEY」の取組を推進します。

- ・アグリテック集積事業

○6次産業化の推進と「ふかや」ブランド力の向上

事業者が1次、2次、3次産業の壁を越えて有機的に連携し、それぞれが強みを発揮した新商品の開発や販路拡大を促進するとともに、それらが消費者に広く浸透するよう各種メディアなどを通じたプロモーションを行うことで、「ふかや」のブランド化を推進し、地域におけるブランド力の向上を目指します。

- ・産業価値向上事業

○ふかやの魅力をさまざまな形で体験できる滞在型・体験型観光事業の展開

深谷ねぎ収穫体験などを一例として、年間を通じてふかやの特色やお店の魅力を生かした、多種多彩な滞在型・体験型観光事業を実施することで、市内事業所・団体の魅力を市内外に発信します。

ふかやの魅力をまるごと楽しんでもらい、体験してもらうことで、ふかやをにぎわいとふれあいのある元気で楽しいまちにすることを目指します。

- ・観光物産振興事業

○地域内経済循環の向上に向けた地域通貨の活用

市内回遊策や各種事業、イベントなどと連携し、地域内に向けたお金の流れをつくるとともに、地域からのお金の漏れを防ぎ、地域内における経済循環の向上に結び付けるため、地域通貨を活用します。

また、人口減少社会において、持続可能な新たな地域経営を促進するため、それらを引き出すインセンティブとして地域通貨ネギーの取組を推進します。

- ・地域通貨推進事業

【プロジェクト指標】

指標名	実績値 令和3(2021)年度	目標値 令和9(2027)年度
法人市民税額	12億7千万円	14億2千万円
市内観光入込客数	353万3千人	1,118万4千人

○プロジェクト3

「ふかや」の魅力を生かした移住定住促進プロジェクト

【プロジェクトの方向性】

深谷市における人口減少を抑制するため、「ふかや」の魅力を伝えるさまざまな取組を通じて、子育て世帯を中心とした転入促進、転出抑制に取り組みます。

深谷市が有する暮らしの魅力を発信するとともに、市の特色を生かした移住策を推進することで、「ふかや」に行ってみたい、「ふかや」を体験したい、「ふかや」に住みたいという人を増やします。また、子育て世帯を中心とした移住希望者のニーズを的確に捉え、深谷市がその選択肢のひとつとなるよう、移住希望者に寄り添う支援を行うことで、子育て世帯に重点を置いた移住定住促進を図ります。

【主な取組】

○ふかやの特色を生かした移住策の推進

都会などからの移住、二拠点居住などにより、自然に親しみながら、のびのびと子育てができるライフスタイルとして「農ある暮らし」をしたい方のニーズに応えるため、空き家とセットで田畑を取得できる農地付き空き家の活用促進を図るとともに、「農ある暮らし」を幅広くサポートする支援体制の充実を図ります。

- ・担い手育成支援事業

【プロジェクト指標】

指標名	実績値	目標値
	令和3（2021）年度	令和9（2027）年度
20代・30代人口 （ベース推計、ベース推計と比較した上昇数）	28,357人 (28,357人 ±0人)	26,733人 (26,670人 +63人)
深谷市にずっと住み続けたいと思う市民の割合	64.6%	73.6%

3 各主要プロジェクトの「主な取組」に係る事業の説明

プロジェクト1 渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト

<p>【 起業家支援事業 】</p> <p>市内産業の振興及び活性化を図る目的として、市内で新たに起業した者に対し、その起業に要する経費（事務所等開設経費・広告宣伝費）の一部について補助する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・起業しやすい環境づくりの推進
--	---

プロジェクト2 農業の強みを生かした産業振興プロジェクト

<p>【 地域産業活性化事業 】</p> <p>市内に人を呼び込み観光回遊を促進する「野菜を楽しめるまちづくり戦略」を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜をテーマとした人を呼び込む取組の推進
<p>【 アグリテック集積事業 】</p> <p>本市の産業特性や経済波及効果を踏まえた企業誘致策として、農業に関わる多様な企業が集積するアグリテック集積都市 DEEP VALLEY の実現を目指す。</p> <p>アグリテック企業集積のため、企業間交流の促進、情報発信、現場導入への伴走支援等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業先進都市を目指す新たな企業誘致の推進
<p>【 産業価値向上事業 】</p> <p>事業者が1次、2次、3次産業の壁を越えそれぞれの強みを発揮した新商品の開発や販路拡大を促進するとともに、ふるさと納税をはじめとする各種メディアなどを通じてプロモーションを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化の推進と「ふかや」ブランド力の向上
<p>【 観光物産振興事業 】</p> <p>観光協会への観光業務委託、及び花火大会実行委員会や重忠まつり実行委員会へ必要な支援策を講ずることにより、観光の振興と集客の拡大を図る。</p> <p>また、市内事業所及び団体の魅力を市内外の多くのかたが体験できる体験交流型イベント「深谷えん旅」を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふかやの魅力をさまざまな形で体験できる滞在型・体験型観光事業の展開
<p>【 地域通貨推進事業 】</p> <p>地域通貨ネギーを活用した「地域内経済循環の向上」と「地域課題の解決」を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内経済循環の向上に向けた地域通貨の活用

プロジェクト3 「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト

<p>【 担い手育成支援事業 】</p> <p>認定農業者等の施設整備や機械整備等に対し、また、新規就農者の就農直後の経営安定化を支援するために補助金を交付する。</p> <p>また、人と農地の課題を解決するための未来の設計図である人・農地プランの作成や、地域農業の保護・発展に資する活動をしている団体に補助金、負担金を交付する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ふかやの特色を生かした移住策の推進
--	--

【参考資料】

深谷市産業振興条例

(目的)

第1条 この条例は、産業の振興に関する基本的な事項を定めることにより、その基盤の強化及び健全な発展を促進し、もって地域の活性化に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 事業者 市内において事業活動を行う者をいう。
- (2) 商店街 市内において小売業、サービス業等を営む店舗が集積している地域をいう。
- (3) 商店会 商店街の区域内において小売業、サービス業等を営む者により組織された団体で商店街の活性化等を目的としたものをいう。
- (4) 経済関係団体 商工会議所、商工会、農業協同組合、商店会その他市内における経済活動の発展に寄与する団体をいう。
- (5) 大学等 市内の大学、高等学校、専修学校その他これらに類する教育施設をいう。
- (6) 市民 市内に居住し、通勤し、又は通学する者をいう。

(基本理念)

第3条 産業の振興は、次に掲げる基本事項に基づき、市、事業者、経済関係団体、大学等及び市民が一体となって推進するものとする。

- (1) 全国に誇る農業の振興を図ること。
- (2) 活力ある商工業の振興を図ること。
- (3) にぎわいを生む観光の振興を図ること。
- (4) 雇用の創出・安定と勤労者への支援を図ること。

(市の役割)

第4条 市は、前条の基本理念にのっとり、次に掲げる産業の振興に関する施策（以下「産業振興施策」という。）を実施するものとする。

- (1) 農業生産基盤を整備し、優良農地を保全するための施策
- (2) 農業経営者及び農業団体を育成し、自立を支援するための施策
- (3) 消費者の満足度を高める農畜産物の生産及び販売を促進するための施策
- (4) 農畜産物の付加価値を向上させるための施策
- (5) 魅力ある商業空間を形成するための施策

- (6) 中小企業の経営を安定させるための施策
 - (7) 商工業の連携及び活性化を促進するための施策
 - (8) 観光資源を発掘し、活用するための施策
 - (9) 企業の誘致を推進するための施策
 - (10) 雇用を安定させるための施策
 - (11) 勤労者の福祉を充実させるための施策
- 2 市は、産業振興施策の実施に当たっては、国及び他の地方公共団体との連携を図るとともに、事業者、経済関係団体、大学等及び市民との協働に努めるものとする。

(事業者の役割)

第5条 事業者は、自らの創意工夫及び自助努力を基本として経営の安定化及び事業の発展に努めるものとする。

- 2 事業者は、地域の生活環境との調和及び生産物の安全性の確保に十分配慮して、事業を発展させるよう努めるものとする。
- 3 事業者は、産業振興施策に積極的に協力するよう努めるものとする。
- 4 事業者は、自らの事業活動を通じて地域社会への貢献に努めるものとする。

(経済関係団体の役割)

第6条 経済関係団体は、自ら産業の振興に資する事業に取り組むとともに、事業者の事業活動を支援し、産業振興施策に積極的に協力するよう努めるものとする。

- 2 経済関係団体は、自らの事業活動を通じて地域社会への貢献に努めるものとする。

(大学等の役割)

第7条 大学等は、専門的知識を有する人材を生かして産業振興施策に協力するよう努めるものとする。

(市民の役割)

第8条 市民は、産業の振興が地域の活性化に寄与することについて理解を深め、産業の健全な発展に協力するよう努めるものとする。

(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

